

対面授業における感染予防 のための注意事項

専修大学

2022年10月17日改定

学生の皆さんへのお願い

これは対面授業を安全に継続していくために、学生の皆さんに守ってほしいことをまとめたものです。

若い人でも重症化することがあります。倦怠感や息切れなどの症状に長く悩まされる人もいます。あなたが感染しないように、そして友人や家族に感染させないように、注意を守って下さい。

ここに示す注意事項以外に、学内に掲示した感染症対策の指示に従って行動して下さい。

内 容

- ◆ 全般的な注意
- ◆ 時間や場所別の注意
 1. 登校前と通学時
 2. 建物に入るとき
 3. 教室の中で
 4. 端末室の授業で
 5. 昼食をとるとき
 6. キャンパス内の移動
 7. 下校時の会食など
- ◆ 感染者の発生に備えて
- ◆ 体調不良のときや感染が診断されたとき
- ◆ 専修大学での感染発生事例

全般的な注意

不織布マスクの着用

通学時や学内では不織布マスクを着用して下さい。ウレタンマスクは、感染症対策にほとんど効果がありません。マスクを忘れたり紛失した場合は、購買会で購入することができます。

熱中症に注意

屋外においてもマスク着用が必要ですが、熱中症の恐れがある時など、健康上の問題がある時は外して下さい。

接触感染にも注意

通学途中もキャンパス内も、公共物は全て新型コロナウイルスに汚染されている可能性があると考え、こまめな手洗いを励行して下さい。

ハラスメント行為の禁止

感染者や濃厚接触者に対する差別的な言動は許されません。また、大学はワクチン接種を推奨していますが、基礎疾患があるなど、様々な理由でワクチン接種をしない人もいますので、接種の有無について興味本位で話題にしたり、差別的な言動をとることはやめてください。

時間・場所別の注意 1 登校前と通学時

登校前に検温

自宅で必ず検温を行い、37.5度以上あるときは絶対に登校しないで下さい。また、体調不良の場合も登校しないで下さい。

乗り物内で

公共交通機関を利用する際は周囲の人と距離をとるように心がけ、会話は控えて下さい。

通学路で

駅からの通学路においても周囲との距離に注意して下さい。必ず不織布マスクを着用し、大声での会話は控えて下さい。

時差通学の工夫も

通学路の混雑緩和のために、授業開始時刻の間際の登校を避けるなどの工夫も考えてみて下さい。

入構前の検温

キャンパス入口等に検温所があります。検温所の掲示に従って検温し、37.5度以上の場合は入構せずに帰宅して下さい。検温所の位置は[こちら](#)です。



時間・場所別の注意 2 建物に入るとき

入口で手指の消毒

建物内に入る際は、配置してある消毒液を使って手指のアルコール消毒をして下さい。

(アルコールアレルギーの方は、代わりに手洗いをこまめに実行して下さい)

携行用消毒液をもつ工夫も

各建物の入口には消毒液を配置しますが、自分が使いやすい消毒液を携行することによって授業開始前の混雑を避けたり、必要と感じたときにいつでも消毒をしたりすることができます。携行用の消毒液は購買会でも購入できます。



時間・場所別の注意 3 教室の中で

密集・密接を避けた着席を

各教室は定員の3分の2程度になるように割り当てています。機械換気、窓やドアの開放、サーキュレーター設置等により、教室内の二酸化炭素濃度を1,000ppm以下になるようにしていますが、密集・密接を避けて着席してください。

休憩時間のマナー

休憩時間も互いに距離をとり、大きな声での会話を控えて下さい。マスク着用中でも、近接しての大声での会話は安全といえません。

接触感染に注意

教室は1時限開始前に毎日消毒を行ないますが、教室内の机や椅子は汚染されている可能性があると考え、手で目・鼻・口を触らないようにして下さい。

他者との接触を最小限に

文具や本などの貸し借りは避け、配布プリントは自分のものだけを扱うようにするなど、他者との接触を最小限にして下さい。

時間・場所別の注意 4 端末室の授業で

入室前後の手洗い

入室前と入室後に手洗いを行い、各端末室の入口にあるアルコール消毒液で手指の消毒を行って下さい。

着席の仕方

端末室は一般教室より座席間隔が大きく、またそうでない部屋にはパーティションを設置しているので、隣り合わせの着席が可能です。ただし、余裕がある場合はなるべく距離を置いて着席して下さい。

利用できないパソコン

利用禁止のパソコンにはマークがされています。

パソコン故障を避けるために

故障の原因になるので、キーボードやマウス等に消毒用アルコールを直接吹きかけないで下さい。

The poster is titled "感染症予防対策実施中" (Infection Prevention Measures Underway) and lists "*****端末室利用の際の新しいルール*****" (New rules for terminal room use). It features four icons: "マスクの着用" (Wearing a mask), "手洗い・うがい" (Hand washing and gargling), "手指の消毒" (Hand disinfection), and "適切な距離" (Appropriate distance). Below this, it says "情報科学センターより端末室ご利用の皆様へ（お願い）" (To all users of the terminal room from the Information Science Center) and "感染症拡大防止に伴い、皆様のご理解とご協力をお願いします" (To prevent the spread of infection, we request your understanding and cooperation). It then lists four numbered items: No. 1 (fever icon) "登校前の検温等、体調管理にご協力ください" (Please cooperate with temperature checks before school, etc., for health management); No. 2 (cough icon) "体調不良・発熱症状のある場合には入室をお控えください" (Please refrain from entering the room if you have symptoms of illness or fever); No. 3 (talking icon with an X) "必要以外の会話はお控えください" (Please refrain from unnecessary conversations); No. 4 (curtain icon) "外気の取り込みによる室内換気の強化にご協力ください" (Please cooperate with strengthening indoor ventilation by taking in outdoor air). A "STOP" sign icon is next to the first item. The footer says "2020年 情報科学センター" (2020 Information Science Center).

時間・場所別の注意 5 昼食をとるとき

入口で消毒

食堂の入口に配置してある消毒液を使って、手指のアルコール消毒をして下さい。

黙食を厳守

食事中は会話をせず、食事が済んだら速やかに退出して下さい。

行列ができるとき

食券購入時などに行列ができる場合は、前の人との間隔を十分にとって下さい。

弁当の昼食も黙食で

弁当を持参する人は、3時限の授業を受ける教室、学生ホール（神田）、アトリウム（生田）などを利用して下さい。これらの場所でも、対面での着席を避け、会話をせずに食べて下さい。



時間・場所別の注意 6 キャンパス内の移動

授業の合間の移動

休み時間に廊下などに滞留せず、速やかに移動するように心がけて下さい。特に、授業終了時の混み合う廊下では会話を控えて下さい。

エレベーターの利用

エレベーターは、健康上の理由等で必要とする場合以外は、混雑時の利用を避けて下さい。エレベーター内では会話を控えて下さい。

エスカレーターの利用

エスカレーターを利用する際には会話を控えて下さい。

動線の指示などに注意

廊下や階段等で動線を限定したり一方通行化しているところでは、指示に従って下さい。



時間・場所別の注意 7 下校時の会食など

会食時の注意

会食をする時は、以下の注意を必ず守りましょう。

- ①感染対策が十分な飲食店を選んで下さい。
- ②開催場所の都道府県の定めや要請（人数・時間の制限等）に従って下さい。
- ③マスクは飲食時だけ外し、会話の際はマスクを着用して下さい。

路上飲みの禁止

いわゆる路上飲み（路上や公園などでの飲酒）は、感染のリスクがあるだけでなく近隣住民の迷惑にもなりますので、絶対に行わないでください。

参考

新型コロナウイルス対策「2021 会食時の感染予防」篇(政府広報室)

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg23576.html>

飲食店を選ぶ際のポイント(新型コロナウイルス感染症対策推進室)

https://corona.go.jp/proposal/pdf/facing_inshoku_20220204.pdf

感染者の発生に備えて

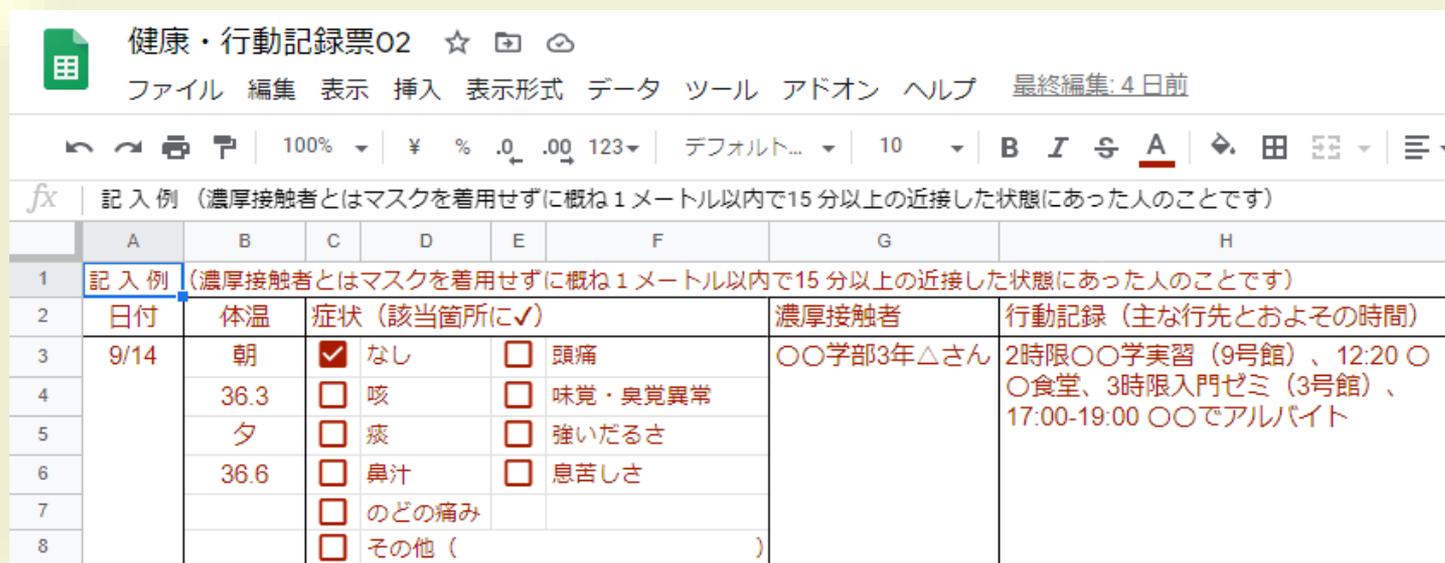
キャンパス内で感染者が発生した場合に、濃厚接触者を迅速に特定する必要があるため、以下のことをお願いします。

①行動記録をつける

健康や行動に関するメモを毎日作成し、2週間分を保存して下さい。メモには健康状態やキャンパス内外の立寄り先、濃厚接触者を記録して下さい。(濃厚接触者とはマスクを着用せずに概ね1m以内で15分以上の近接した状態にあった人のことです)

[健康・行動記録票 \(Googleスプレッドシート\)](#) ⇒ 「ファイル→コピーを作成」を実行して下さい

[健康・行動記録票 \(Excelファイル\)](#) ⇒ ファイルをダウンロードして下さい



	A	B	C	D	E	F	G	H
1	記入例 (濃厚接触者とはマスクを着用せずに概ね1メートル以内で15分以上の近接した状態にあった人のことです)							
2	日付	体温	症状 (該当箇所)に✓			濃厚接触者	行動記録 (主な行先とおよその時間)	
3	9/14	朝	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 頭痛	〇〇学部3年△さん			2時限〇〇学実習 (9号館)、12:20 〇〇食堂、3時限入門ゼミ (3号館)、17:00-19:00 〇〇でアルバイト
4		36.3	<input type="checkbox"/> 咳	<input type="checkbox"/> 味覚・臭覚異常				
5		夕	<input type="checkbox"/> 痰	<input type="checkbox"/> 強いだるさ				
6		36.6	<input type="checkbox"/> 鼻汁	<input type="checkbox"/> 息苦しさ				
7			<input type="checkbox"/> のどの痛み					
8			<input type="checkbox"/> その他 ()					

感染者の発生に備えて（つづき）

②指定された教室での受講

キャンパス内でオンライン授業を受講する必要がある場合は、必ず指定された場所で受講して下さい。また、早めの登校をした場合の待機時間や授業の空き時間には、指定された教室か、学生ホール（神田）やアトリウム（生田）などを利用してください。

体調不良のときや感染が診断されたとき

キャンパスで体調が悪い時

キャンパス内で体調が悪くなった場合は、すぐに保健室を訪ねてください。

自宅で体調が悪い時

かかりつけ医に相談し、それができない場合は各自治体指定の専用窓口にご相談して下さい。専修大学保健室でも相談を受け付けます。

自治体の専用窓口へのリンク

東京都
窓口

川崎市
窓口

他地域
窓口

感染者になった時

新型コロナウイルスの感染者または濃厚接触者になった場合は、速やかに保健室に連絡するかin Campusのアンケート機能を使って連絡して下さい。

同居者が感染した時など

同居者が感染者または濃厚接触者として特定された場合は、特定を行った保健所等に自身の登校の可否などを確認して下さい。同居者が医師や保健所等の指示によりPCR検査を受けた場合は、その結果が陰性と判明するまで登校を控えてください。

神田キャンパス保健室 (9号館1階 TEL 03-3265-6219)
生田キャンパス保健室 (4号館1階 TEL 044-911-0503)

専修大学での感染発生事例

- ◆ サークル活動の後に飲食をした仲間に無症状の感染者がおり、参加した別の学生が感染した。
- ◆ カラオケに行った仲間に無症状の感染者がおり、参加した別の学生が感染した。
- ◆ 休み時間にマスクを外して会話をした友人が感染者であると判明したため、濃厚接触者に指定されて2週間の自宅待機となった。
- ◆ 授業後の帰宅途中と一緒に食事をした友人が感染者であると判明したため、濃厚接触者に指定されて2週間の自宅待機となった。
- ◆ 演習形式の授業で全員がマスクをしていたが、感染者であると後日判明した学生と近距離で議論や作業を行った学生が濃厚接触者に指定された。PCR検査は陰性であったが、2週間の自宅待機となった。（マスク着用でも長い会話時は距離をとりましょう）
- ◆ 授業出席者の一人が感染者であることが後日判明したが、マスク着用の出席者全員が濃厚接触者に指定されず、実際に感染者も出なかった。（同様の事例が複数あります）

